

学校種間や地域・関係機関との連携を図るキャリア教育実践事例集

すべての子どもたちに未来を 切り拓く力を育むキャリア教育

～北海道におけるキャリア教育の一層の充実のために～

実践事例編

「縦」「横」の連携によって支えられるキャリア教育		14
空知：幼・小・中・高の発達の段階に応じた系統的なキャリア教育の推進	美瑛市教育委員会	15
空知：普通科高校におけるインターンシップの充実を中心とした取組	北海道南幌高等学校	18
石狩：5日間の職場体験を実現する江別市のキャリア教育推進事業	江別市教育委員会	19
石狩：3か年を見通した組織的・系統的な学習プログラムの開発	北海道札幌手稲高等学校	20
後志：近隣の町村と連携を図った職場体験の実施	島牧村立島牧中学校	21
後志：職業能力開発大学校との連携を図った取組	小樽市立銭函小学校	22
胆振：中高一貫教育の「生き方学習」	むかわ町立鶴川中学校、北海道鶴川高等学校	23
日高：「えりも地区中高一貫キャリア教育」の取組	えりも町立えりも中学校、北海道えりも高等学校	24
日高：組織的・系統的なキャリア教育（デュアルシステム）	北海道静内農業高等学校	25
渡島：勤労観・職業観を育む社会人講話、卒業生による進路ガイダンス	森町立森中学校、北海道森高等学校	26
檜山：地域と連携した体験活動による基礎的・汎用的能力の育成	乙部町立明和小学校	27
上川：地域が一体となって取り組むキャリア教育の推進	富良野市キャリア教育推進会議	28
上川：キャリアノートの作成と活用	上川版キャリアノート開発協議会	29
上川：長期間のインターンシップの取組～旭工版デュアルシステム～	北海道旭川工業高等学校	31
宗谷：ふるさと教育と関連させたキャリア教育の実践	礼文町教育委員会	32
留萌：学力向上との関連を図り、既存の組織を活用した体制整備の工夫	初山別村スクエアプロジェクト	33
十勝：「子どもの未来」を築く「未来創造塾」	社団法人帯広青年会議所	35
十勝：地域の教育力を最大限に活用したキャリア教育の推進事業	本別町キャリア教育推進事業	37
オホーツク：中高6年間の一貫したSTCプログラム	湧別地区中高一貫教育推進委員会	38
根室：ふるさとの明日（みらい）を創る子どもの育成	根室市校長会・教頭会	39
釧路：9年間を見通した全体計画に基づくキャリア教育の実践	厚岸町立高知小中学校	41

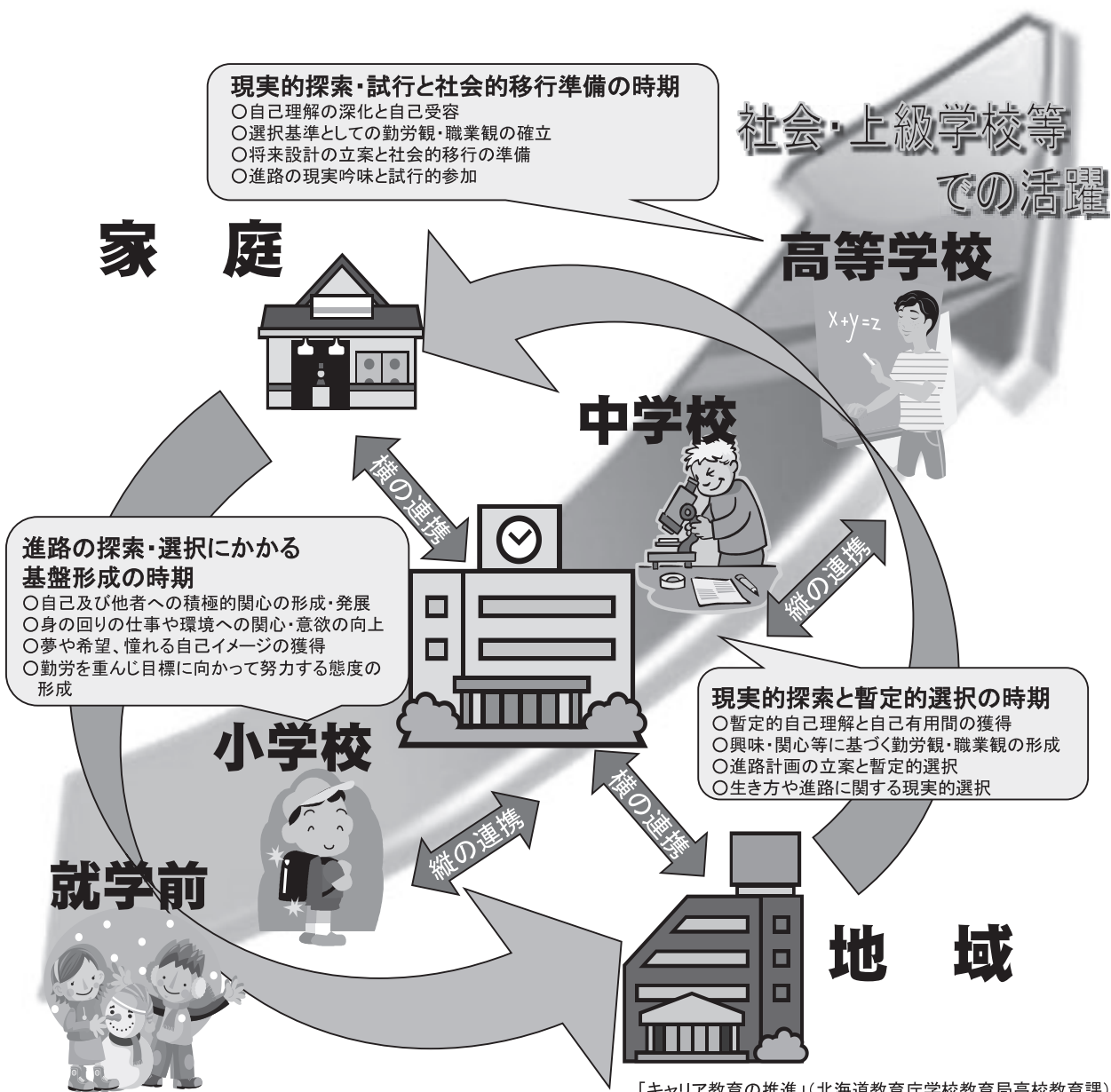




「縦」「横」の連携によって支えられるキャリア教育

～発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の推進～

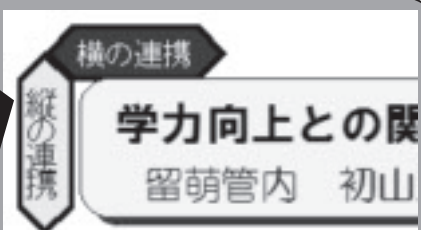
キャリア教育を各学校で効果的に展開するためには、それぞれの学校のキャリア教育を支える「縦」や「横」との連携やかかわりを築き上げる必要があります。「縦」の連携〔児童生徒の発達の段階に応じた学年間・学校種間の緊密な協力と円滑な接続〕、「横」の連携〔学校と家庭や地域・社会、企業、就労支援諸機関、職能団体や労働組合等の関係機関、NPO等の連携〕といった様々な教育力を生かし、キャリア教育を進めていくことが大切です。



「キャリア教育の推進」(北海道教育庁学校教育局高校教育課)

実践事例編では...

タイトル左にその事例が「縦」「横」どちらの連携を重視したものを右図のように反転で示しています。(一部、両方に関連した事例もあります)



幼・小・中・高の発達の段階に応じた系統的なキャリア教育の推進

空知管内 美唄市教育委員会（幼稚園4園、小学校6校、中学校4校、高等学校1校）

■取組の特色

◆発達の段階に応じた農業体験（美唄市グリーン・ルネサンス推進事業）の取組

○教育委員会では、市内の農業関係者等の協力のもと、幼稚園での栽培の体験、小学校での地域の人との稲作体験、中学校での環境学習と農業体験、高等学校での販売体験等、発達の段階に応じて地域の基幹産業である農業を体験するキャリア教育を推進している。

◆異校種・異年齢の交流を通じたキャリア教育の取組

○学校種間連携を図るとともに、特にこれらの活動を通して、異年齢の積極的な交流などを重視したキャリア教育の推進に努めている。

美唄市グリーン・ルネサンス推進事業

～地域に根ざし、暮らしに学ぶ～

美唄市では、「地域に根ざし、暮らしに学ぶ」という視点から、子どもたちが大人になったとき、地域の生活文化や豊かな自然環境を継承し、そこで育ったことを自らの誇りとして生きていくことができる態度を身に付けさせることを目指している。

その活動として、地域のもつ教育力を再認識し、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を担い、力を合わせて子どもたちを育てていく取組を展開している。

「グリーン・ルネサンス推進事業」は、＜自然と人の豊かなふれあいを取りもどし、地域社会を人間の生活の場として再生すること＞と＜子どもたちに最高の学習の場を提供し、子どもたちの生きる力を育むこと＞をひとつのものと捉え、地域における信頼という確かなつながりによって、学校現場・教職員の教育活動を支え、子どもたちに体験活動の場の提供を支援する取組である。

グリーン・ルネサンス推進事業のねらい

- 様々な人や自然と関わる農業の実体験（食農教育）を通じた豊かな心の育成
- 責任感、努力の大切さに気付かせ、共に学び合うなどの社会性の育成
- 自ら進んで取り組む探究的な学習を通じた、主体性の育成

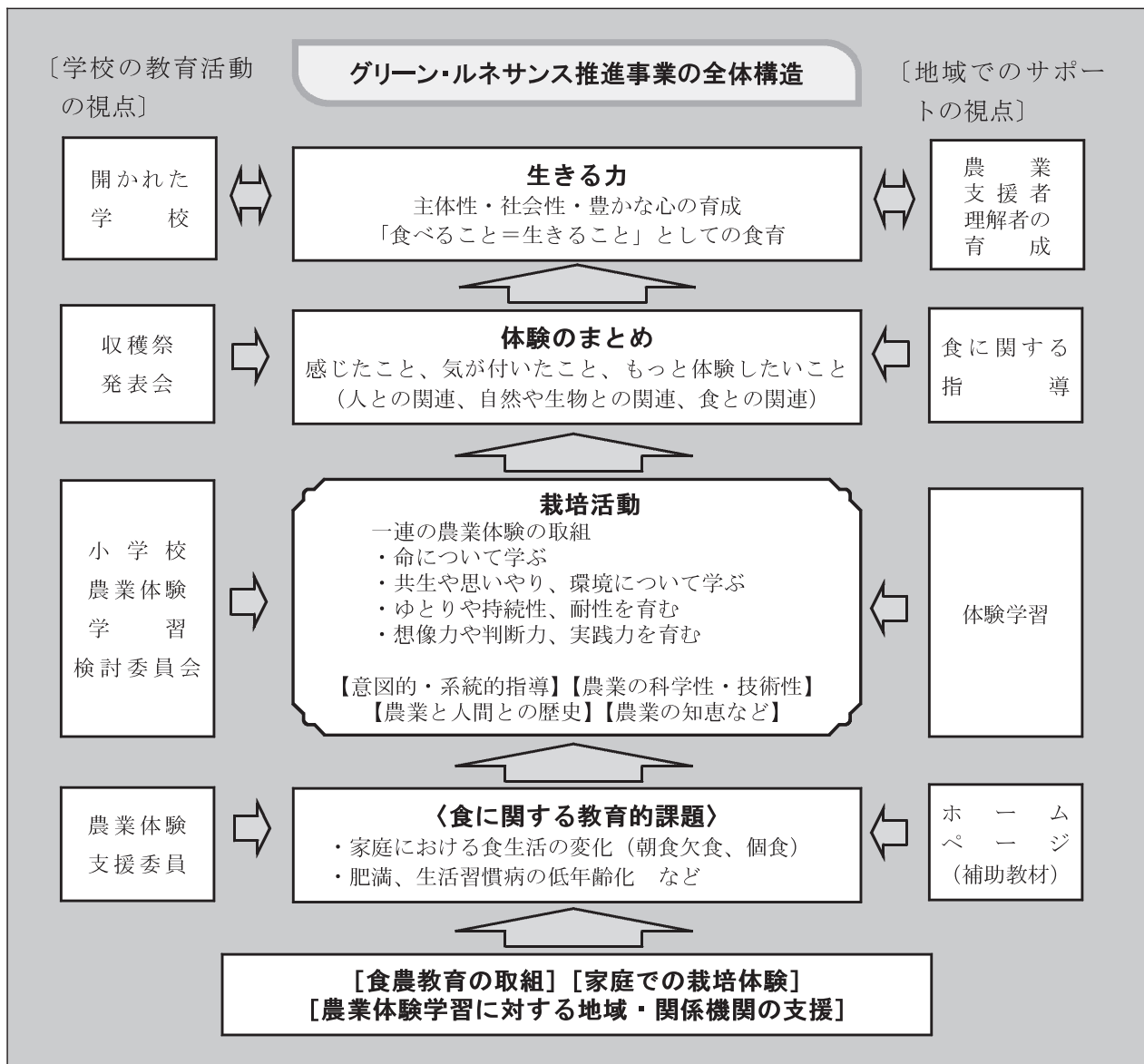
グリーン・ルネサンス推進事業の基本的考え方

市の基幹産業である農業と学校教育とをつなぎ、
・職業としての「農業」の理解者を育成すること
・「食にこだわったまちづくり」として食育を推進すること
の2点について充実を図る。

グリーン・ルネサンス推進事業の意義

- ① いのちについて学ぶ
農作物の生長を実感させ、人と農作物との「いのちといのちのかかわり合い」や「いのちの大切さ」について学ぶことができる。
- ② 共生や思いやり、環境について学ぶ
農業体験を通して、人間が様々な生き物と共に生きることの大切さを理解させることができる。
- ③ ゆとりや持続性・耐性を育む
長期間にわたる農業体験から、持続性や耐性を育てることができる。
- ④ 創造力や判断力・実践力を育む
様々な自然現象への対応など計画的な農業について学ぶことを通して、創造力や判断力、実践力を育てることができる。





グリーン・ルネサンス推進事業とキャリア教育との関連

○ 豊かな心の育成

農業体験により、様々な生物や環境と関わり、多くの人々との関わりを通して、「いのちといのち」のつながりを学ばせることで、豊かな心を育成する。



人間関係形成・社会形成能力

○ 社会性の育成

農業体験を通して、自分に与えられた役割を自覚し、責任感や努力することの大切さに気づかせることにより、社会性を育成する。



自己理解・自己管理能力

○ 主体性の育成

農業体験を、目標をもち専門家の指導を受けながら計画的に取り組ませることで、主体的に学ぶ態度を育成することができる。



課題対応能力

幼・小の田植え体験交流や地域の協力者との交流の積み重ねを、中・高の食品加工体験交流や販売体験、高校における進路決定につなげる。

■実践例

◆幼・小からの農業体験や交流の積み重ねから中・高でのキャリア教育につなげる取組

「農業体験学習」を通した幼・小・中・高の学びの連続性

幼稚園

- 花や野菜の世話
- 農業体験

（取組内容）

花や野菜を育て、食べてみることで食べ物を大切に
する気持ちや用意してくれる人々への感謝の気持ち
を育て、小学校の農業体験へ滑らかにつなぐ。

なめらかな接続

小学校

- 食に関することなどの学習
- 「総合的な学習の時間」における農業
体験
- 地域住民や協力者との交流 等

（取組内容）

農作業や地域の人たちの交流により、生産者の苦勞
を聞いたり食をめぐる問題に気付いたりして、自然と
人間の関係、想像力、判断力など生きる力の基礎を育
む。

農業体験学習の積み上げ

中学校

- 農産物、環境に関することなどの学習
- 農業科（フード系列）への進路選択
- キャリア教育（職場体験学習）における
農業体験 等

（取組内容）

職業体験学習で地域における農業の役割や環境との
関わりを学習したり、高校生と農業、食品加工を体験
したりすることとおして、社会性や主体性を育む。

農業体験の成果

高等学校

- 総合学科（フード系列）での食品、流通、
製造、提供などの学習
- 農業従事者や食関連産業への進路決定
- 大学、短大などへの進学によるさらなる
専門性の追究 等

（取組内容）

食品、製造を学ぶなど専門大学への進学、農業従事
や農業以外の進路にも生きる力を備えたキャリア形成
を目的とした教育を推進する。

活動で取り入れられた異校種間の交流

【幼稚園児と小学生との田植え体験交流】

幼稚園児と小学生が合同で田植え体験を行った。
この交流を通して、小学校の教員も幼稚園での「学
び」の理解を促すことができた。

【高校生による出前授業における中・高生との食 品加工体験交流】

高校生が中学生にアイスクリームの作り方を教え
る出前授業を行っている。この交流を通して、中
学生が高等学校総合学科（フード系列）の学習の
様子を学ぶことができた。

【職業体験としての加工・販売体験の実施】

総合学科（フード系列）の高校生が、小学生と一
緒にジャム作りを行い、そのジャムを札幌市で開催
された「美唄の特産品子ども販売体験」において、
小学生と一緒に販売した。この交流を通して、物品
販売のやりがいや難しさを学ぶだけでなく、高校生
が、自分たちの学習が小学生のあこがれになること
を実感することができた。



小学生の販売体験

初めはドキドキしたけ
れど、自分たちで作った
ジャムをたくさんの人が
買ってくれてうれし
かった。また、やってみたい
と思った。



中学校での出前授業

高校生に教えてもらい、おい
しいアイスクリームを
作ることができた。高校
で、このような勉強が
できるのは興味深い
と思った。

取組の成果

- 幼稚園から高等学校までの農業体験の積み重ねは、社会的自立・職業的自立に必要な意欲・
態度や能力の育成とともに、異校種・異年齢の児童生徒の交流により、人間関係形成能力
等の育成につながった。
- 全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査によると、美唄市の中学校において、『「総合
的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思
う生徒』の割合は、H20年度16%だったが、H24年度は28%であり、グリーン・ルネサ
ンス推進事業の取組が生徒のキャリア形成につながっている。